

(様式3)

### 女性農業者活躍促進計画

実施主体名	株式会社デイリーファーム
取組	(2) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保
構成員数	100人(うち、女性の人数 74人) (令和3年5月15日時点)

#### 1 事業実施方針

<p>(1) 事業の全体方針</p> <p>① 当社の歴史からみた農業に対する取組</p> <p>1926年 養鶏業開始</p> <p>1996年 農場内にGP(鶏卵の選別、パッケージ)センター併設</p> <p>2008年 ISO22000取得</p> <p>2010年 飼料の一部として地元産の飼料米を本格的に採用 (当社の鶏糞を利用した休耕田の活用と地域循環型農業の推進)</p> <p>2013年 六次産業化・地産地消法に基づく総合事業化計画の認定を受ける</p> <p>2015年 とれたてたまごの洋菓子店「ココテラス」オープン</p> <p>2018年 国家戦略特別区域法を活用し農家レストラン「レシピヲ」オープン</p> <p>2019年 JGAP取得</p> <p>② 事業の全体方針</p> <p>今後も六次産業化を推進し、地域の地産地消に取り組み、地域循環型農業を広げる。企業方針は「お客様の健康づくりに貢献する、安全・安心でおいしいたまごづくり」であり、その推進のためには全社員の約3/4を占める女性の活躍が従来にも増して重要であり、今回の女性が働きやすい環境整備支援を活用して、女性農業者の居場所づくり、女性の農業・農村への定着につなげる。</p> <p>(2) 本事業を実施する背景(地域農業の実態と地域の女性農業者の状況から)</p> <p>① 当社が所在する常滑市は知多半島の中央部の西海岸に位置し、農業が盛んな地域である。</p> <p>② 市内の農産物の産出額は第1位養鶏、第2位水稻、第3位キャベツなどの野菜、第4位イチジクなどの果物となっている。</p> <p>③ しかし、常滑市の農業経営体数は2005年566経営体あったものが、2010年には471経営体、2015年には374経営体と減少(10年前比30%減)している。女性農業者についても経営体の減少に伴い、大幅に減少しており、農業の担い手の不足が深刻化している。(常滑市農業水産課から聴取)また、当社内においても女性農業者の高齢化が進んでいる。</p> <p>④ 常滑市の女性人口は2015年は28,918人で、国立社会保障・人口問題研究所によると2035年には31,090人へと7.5%増加する予想ではあるが、農業従事を希望する女性は少なく、また、農業従事者として採用されても職場環境に不満を持ち早期に退職する例が多</p>
---

く、定着が進んでいない。

- ⑤ 一方、当社においてはとれたたまごの洋菓子店、農家レストランをオープンさせ、従業員数は2014年9月末の46名から2021年5月には100名（うち女性74人）へと増加させており、今後も女性農業者の新規確保は積極的に推進していく。そのために女性農業者のための労働環境整備が必要。
- ⑥ 当社は従前から地域循環型農業を目的として鶏糞を飼料米農家に販売し、飼料米農家からは飼料米を購入している。また、当社農場で生産した卵を使った洋菓子店、農家レストランを運営し、地域の雇用確保に努めている。

(3) 本事業で解決しようとする課題

当社農場においては女性専用のトイレ・休憩室・更衣室がなく、この環境整備が喫緊の課題となっている。上記(2)で述べたとおり、地域の女性農業者は減少しており、また、女性農業者の高齢化も進んでいる中、本事業により、女性が働きやすい環境を整備することで、安定的な女性農業者の確保・定着を図る。

(4) 最近の当社の農業活性化の取組に対する外部からの評価(ご参考)

- ①2016年、とれたたまごの洋菓子店の取組などが評価され農林水産省食料産業局長から「平成28年度六次産業化優良事例表彰」を受けた。
- ②2018年、農林水産物の魅力発信や需要拡大に寄与したとして愛知県知事から感謝状を授与された。
- ③2019年、地域の活性化、所得向上に取り組んだとして東海農政局長から「ディスカバー農山漁村の宝」に選定された。

以上のように、各方面から、当社の農業活性化の取組を評価していただき、今後も継続して農業の活性化を図る。

(注) 具体的に記載してください。

## 2 女性農業者活躍に向けた実施体制

(1) 役割分担・責任体制

- |             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| ① 全社統括・農場管理 | 社長                            |
| ② 業務管理      | 副社長                           |
| ③ 施工管理      | 総務部長                          |
| ④ 女性活躍推進    | 農場・GPセンター・洋菓子店・<br>レストラン 各責任者 |

(2) 事業実施主体の能力

社長・専務はともに獣医師であり、養鶏についての専門知見も十分に有している。また、社長は全国養鶏経営者会議会長、愛知県農業法人経営者協会会長、常滑市養鶏協議会会長も歴任している。

(3) 関係機関との連携

常滑市農業水産課、愛知県農業水産局畜産課、農林水産省などとも定期的な情報交換を行

っており、当社から農業発展のための取組を発信し、連携の強化に努めている。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<b>【実施中の取組】</b>		
① 社長による地元大学での食に関する講義実施	2回(2020年度)	
② 新規就農希望者に養鶏場の現地案内・説明	5人(2020年度)	
③ 当社HPにおける求人情報提供		
④ 公益財団法人産業雇用安定センターへの求人情報登録		
⑤ 会社作成情報誌での女性農業者活躍状況紹介	2回(2020年度)	
⑥ SNSによる女性農業者活躍状況紹介	3回(2020年度)	
⑦ 社長が、コープあいちなどが主催し、消費者庁・愛知県などが後援する「食品ロス削減」のセミナーにパネリストとして参加。	1回(2020年度)	
<b>【今後の取組】</b>		
① 地元大学での食に関する講義実施	年間1回(目標、コロナ禍により無開催の可能性あり)	
② 当社HP、会社作成情報誌での女性農業者の業務取組状況紹介	年間3回(目標)	
③ インスタグラムライブでの女性農業者活躍状況の配信	年間3回(目標)	

(注) 「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<b>【実施中の取組】</b>		
① 農場部門の1日の労働時間を就業規則を改	対象8名(2020年度)	

定し 30 分短縮。 ② 農場部門の休日日数の増加(1 カ月 8 日から週休 2 日へ) ③ 管理者と担当者の面談機会を設け、担当者の勤務に対する希望、職場問題を定期的に聴取し対応。 ④ 全社の管理者を集め、職場環境についての問題点、改善策を検討。 ⑤ 正社員の希望者に対して月間時間外勤務が 20 時間以内とするコースを新設。 ⑥ 夏季の勤務時間中に水分補給休憩時間を設定 ⑦ 女性販売員による卵の知識に関する勉強会実施  <b>【今後の取組】</b> 上記③、④、を継続して実行する 上記③ 上記④ ① 農場パートタイマーに勤務評価制度を導入し勤労意欲を高める ②定期健康診断費用の会社負担制度の新設 (パートタイマーなど当社での社会保険未加入者に対しても)	対象 10 名 (2020 年度)  半年 2 回  毎月 1 回  対象 1 名  過去 1 回   半年 2 回 (目標) 毎月 1 回 (目標) 2021 年度中に 2021 年度中に	
---	---	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

### (3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<b>【実施中の取組】</b>		
① 女性営業担当による販売先の店頭での卵料理の調理実演による販売促進	30 回 (2020 年度)	
② 女性営業担当による取引先への卵勉強会への講師派遣	20 回 (2020 年度)	
③ 女性社員による卵料理調理方法をインスタライブで配信	3 回 (2020 年度)	
④ 女性社員が開発した洋菓子の新商品をインスタライブで配信	3 回 (2020 年度)	

⑤ 女性営業担当による取引先での卵勉強会の講師を務めた	10回(2020年度)	
⑥ 女性営業担当のたまごに関する外部認定資格取得(たまごソムリエ)	1回(2020年度)	
⑦ ⑥による女性資格取得者による社内勉強会の開催	過去1回	
⑧ 愛知県知多農林水産事務所が主催した女性農業者活躍支援事業における「人材育成セミナー」にて副社長(女性)が講師を務めた	過去1回	
⑨ 地元小学校での食育教育実施	過去3回	
⑩ 当社が購入している飼料米栽培の田における地元小学生の稲刈り体験の企画実行。	過去3回	
⑪ 地域の親子を集め、夏休み親子料理教室を開催	過去1回	
⑫ 地元保育園・幼稚園での離乳食・幼児食の作り方を講義。食物アレルギーの基礎知識説明。	30回(2020年度)	
⑬ コロナ禍での学校等休業での従業員休業時の有給扱い	延べ134日(2020年度)	
⑭ コロナ禍での勤務時間短縮有給扱い	延べ236時間(2020年度)	
<b>【今後の取組】</b> 上記①から④を継続して実行する。		
上記①	年間20回(目標)	
上記②	年間10回(目標)	
上記③	年間3回(目標)	
上記④	年間3回(目標)	
① 関東圏での販路拡大企画の策定実行を女性管理者が行う。	2021年度中に	
② 社内業務のマニュアル化により、女性の急な休業などの際に他の者がサポートできる体制を構築する。	2021年度中に	
③ 外部コンサルタント(トヨタ自動車農業改善チーム)による業務改善指導で業務の効率化を図り女性の労働負荷を削減する。	2021年度中に	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 地域の女性ネットワークづくり、女性グループ活動

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
		(1) 地域の女性のネットワークづくり、女性グループの活動には応募せず。

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2022年2月までに	① 女性専用トイレ（女性5名、新設） ② 女性専用休憩室（女性5名、新設） ③ 女性専用更衣室（女性5名、新設）	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(2)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	40人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 0人、 雇用就農者4人、 アルバイト・ボランティア等36人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された方含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の女性とします。農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。